〈教育学部〉

| 科　目　名 | 科目区分 | 開講年次 | 必･選 | 開講期 | 単位数 | 担当教員名 | 担当形態 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **障がい児･者の心理学** | **専門（教育支える心理）** | **2** | **中･高(英) 選択<br>中･高(国) 選択** | **前期** | **2** | **寺　本　妙　子** | **単独** |

| 英語科目名 | Special Needs Psychology |
|---|---|

| 免許法施行規則に定める科目区分 | 教職に関する科目(中学校･高等学校) |
|---|---|
| | 中学校･高等学校 ：（教育の基礎理論に関する科目／幼児，児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)) |

＜授業概要＞

障がいと共に生きる子ども、成人、及びその家族について理解を深め、様々な問題・ニーズ（教育、医療、生活、就労等）に対して必要な支援とは何か、具体的にどのような支援が実施可能か等のテーマに主体的に取り組む。講義に加えて、支援プログラムの計画立案や特定のテーマに関するプレゼンテーション等の能動的学修を取り入れ、「障がい」に関する総合的理解、および問題解決的な態度・思考力の修得を目指す。

＜到達目標＞

障がいのメカニズムとその支援に関して総合的に学び、それぞれの特徴を適切に説明することができるようになる。更に，問題・課題に対して問題解決的に考え、具体的な対処・解決の方法を考案することができるようになる。

＜ディプロマポリシー＞

・コミュニケーション力、情報収集・活用力をのばし、自律的に学ぶ力、自己研鑽力を身につけている。
・児童・生徒理解、自己理解、他者理解できる心理学的なスキルを修得している。
・専門的な教育学の知識全般を修得し、クリティカルシンキング、創造的思考力、問題解決力を身につけている。
・「アクティブ・ラーニング」「ICT の活用」「実践的道徳教育」「特別に支援の必要な児童生徒への対応」などの指導力を身につけ、初等教育専攻のものにあっては「さまざまな教科の幅広い知識と指導力」、中等教育専攻のものにあっては「専門教科に関する高い知識と指導力」を修得している。

＜学生へのフィードバック＞

授業で全体に向けてフィードバックを行う。

＜授業／AL の進め方＞

各回のテーマについての講義と質疑応答を通じて、授業を進める。教科書や資料を参考に、特定のトピックについてグループ・ディスカッションを行う。また、特定のテーマについてグループで調査してまとめ、全体で発表し、それに対する受講者間の相互評価と振り返りを行う。そして、レポートとしてまとめることが求められる。

＜利用する ICT 機器＞　パソコン、プロジェクター

＜成績評価＞

【評価方法】平常点（授業への参加態度、グループ・ディスカッションへの貢献、プレゼンテーションへの取り組み、ワークシートへの取り組み）を 40%、中間レポートを 30%、学期末レポートを 30%で評価する。

【評価基準】授業への参加における意欲と積極性、プレゼンテーションの内容と態度、レポートの形式と内容の適切さについて評価する。

＜教科書＞

使用しない

＜参考書＞

梅谷忠勇他（編著）(2015)．特別支援児の心理学（新版）－理解と支援　北大路書房
植村勝彦 (2012)．現代コミュニティ心理学－理論と展開　東京大学出版会

＜受講学生へ＞

ワークシートを活用し、授業で扱ったトピックについて能動的に考える。グループワークを頻繁に取り入れるため、他者と能動的にコミュニケーションをとる姿勢が求められる。各自が能動的に考え、発言し、他者と意見交換することを重視する。授業中に指示する資料を事前に読んでおくこと（事前学修）、及びワークシートを完成させること（事後学修）が求められる。

【授 業 計 画】

| | | |
|---|---|---|
| 第 1 回 | 授業内容 | オリエンテーション：この授業の進め方について説明し、障がいについて考える |
| | 事前事後学修 | シラバスを確認する（予習 1 時間）。ワークシートを完成させる（復習 3 時間）。 |
| 第 2 回 | 授業内容 | 障がいの 3 つの次元と ICF（国際生活機能分類） |
| | 事前事後学修 | 配布資料を読む（予習 2 時間）。ワークシートを完成させる（復習 2 時間）。 |
| 第 3 回 | 授業内容 | 生活機能と障がいの構造的理解 |
| | 事前事後学修 | 配布資料を読む（予習 2 時間）。ワークシートを完成させる（復習 2 時間）。 |
| 第 4 回 | 授業内容 | 障がい者の法的定義 |
| | 事前事後学修 | 配布資料を読む（予習 2 時間）。ワークシートを完成させる（復習 2 時間）。 |
| 第 5 回 | 授業内容 | ノーマライゼーション、リハビリテーション、エンパワーメント |
| | 事前事後学修 | 配布資料を読む（予習 2 時間）。ワークシートを完成させる（復習 2 時間）。 |
| 第 6 回 | 授業内容 | 演習①：障がいに関するテーマの文献検討と集団討議 |
| | 事前事後学修 | 資料を収集して読む（予習 2 時間）。プレゼンテーションの準備（復習 2 時間）。 |
| 第 7 回 | 授業内容 | 演習②：障がいに関するテーマのプレゼンテーション |
| | 事前事後学修 | プレゼンテーションの準備（予習 3 時間）。振り返りのワーク（復習 1 時間）。 |
| 第 8 回 | 授業内容 | 特別支援児の理解と支援 |
| | 事前事後学修 | 配布資料を読む（予習 2 時間）。ワークシートを完成させる（復習 2 時間）。 |
| 第 9 回 | 授業内容 | 受容機能の障がいの理解と支援 |
| | 事前事後学修 | 配布資料を読む（予習 2 時間）。ワークシートを完成させる（復習 2 時間）。 |
| 第 10 回 | 授業内容 | 処理機能の障がいの理解と支援 |
| | 事前事後学修 | 配布資料を読む（予習 2 時間）。ワークシートを完成させる（復習 2 時間）。 |
| 第 11 回 | 授業内容 | 表出機能の障がいの理解と支援 |
| | 事前事後学修 | 配布資料を読む（予習 2 時間）。ワークシートを完成させる（復習 2 時間）。 |
| 第 12 回 | 授業内容 | 病弱・身体虚弱、重症心身障がいの理解と支援 |
| | 事前事後学修 | 配布資料を読む（予習 2 時間）。ワークシートを完成させる（復習 2 時間）。 |
| 第 13 回 | 授業内容 | 演習③：　障がい児・者に対する支援プログラムの計画立案 |
| | 事前事後学修 | 資料を収集して読む（予習 2 時間）。プレゼンテーションの準備（復習 2 時間）。 |
| 第 14 回 | 授業内容 | 演習④：　障がい児・者に対する支援プログラムのプレゼンテーション |
| | 事前事後学修 | プレゼンテーションの準備（予習 3 時間）。振り返りのワーク（復習 1 時間）。 |
| 第 15 回 | 授業内容 | 総合考察 |
| | 事前事後学修 | これまでの授業内容の振り返り（4 時間）。 |